

Innovation for Cool Earth Forum (ICEF)について

経済産業省

- 地球温暖化問題は、喫緊の課題であるとともに経済成長と両立しながら、世界が一体となって長期に渡って取り組むことが必要。これを実現する鍵は「イノベーション」。
- こうした認識のもと、安倍総理の提唱により、温暖化問題解決のイノベーションを促進するため、世界の産官学のリーダーが議論するための知のプラットフォームとして、いわば「エネルギー・環境技術版ダボス会議」とも言えるICEFを昨年から毎年東京で開催。「攻めの地球温暖化外交戦略」でも我が国の貢献として位置付け

主催: 経済産業省、NEDO
(共催: 外務省、環境省)

運営委員会: 世界の多様な意見を反映するため、日米欧中韓、中東、アフリカ、中南米の11カ国の有識者16名からなる運営委員会を設置

◆第1回年次総会◆

会合日時: 平成26年10月8日(水)

場所: ホテル椿山荘東京

出席者: 各国政府、企業、学界、国際機関等、約80ヶ国から約800名(うち外国人約300名)が参加

第1回年次総会の流れ:

- 09:00 - 09:30 [開会式] 安倍総理 開会挨拶 (ビデオレター)
山際経済産業副大臣 開会挨拶
- [基調講演] トヨタ自動車 内山田会長
- 09:30 - 11:00 [本会議①] 気候変動問題への取組におけるイノベーションの役割
- 11:30 - 13:00 [本会議②] イノベーション促進戦略
- 14:00 - 16:30 [分科会]
- ① 太陽エネルギー
 - ② 地熱
 - ③ 次世代自動車
 - ④ 省エネ
 - ⑤ スマートコミュニティ
 - ⑥ RDD&D(研究、開発、実証及び普及)における公的機関の役割
 - ⑦ 先進国と途上国の協力
- 17:00 - 18:30 [閉会式] 各分科会の議論の紹介
小淵経済産業大臣 閉会挨拶
望月環境大臣 閉会挨拶
中根外務大臣政務官 閉会挨拶

議題及びスピーカー:

本会議①

イノベーションを通じた気候変動問題の取組

気候変動問題への将来予測を概観し、この長期的課題に向けたイノベーションの役割について、政策担当者・民間事業者・研究者等、異なる立場から議論

- モデレーター:** **デービッド・サンダロー** 元米国エネルギー省 (DOE) 次官補
パーツラフ シュミル マニトバ大学特別名誉教授
山口 光恒 東京大学客員教授、気候変動に関する政府間パネル (IPCC) 第三作業部会執筆者
グエン ミンクアン ベトナム天然資源環境大臣
マシュー ハンコック 英国国務大臣 (ビジネス・企業、エネルギー及びスポーツマス市担当)
ローレンス トゥビアナ パリ政治学院教授、フランス開発庁理事会議長、持続可能開発・国際関係研究所所長、パリ気候変動会議特別代表
佐々木 則夫 経団連副会長、東芝取締役副会長

本会議②

気候変動問題に向けたイノベーションの促進策

イノベーションの促進と普及に向けた戦略について、政策担当者・民間事業者・研究者等の異なる立場から議論

- モデレーター:** **ネボイシャ ナキチェノヴィッチ** 国際応用システム分析研究所副所長
ディディエ・ウサン 国際エネルギー機関 (IEA) 持続可能エネルギー政策・技術 局長
リチャード レスター マサチューセッツ工科大学教授
ソレナ・サッターリ イラン・イスラム共和国科学技術担当副大臣
エリック・P・ドレッセルヒューズ シルバースプリングネットワークスグローバルセールス担当エグゼクティブバイスプレジデント
オグンラデ デビッドソン 気候変動に関する政府間パネル (IPCC) 第三作業部会共同議長、元シオラレオネエネルギー・水資源大臣
石井 菜穂子 地球環境ファシリティ事務局長

分科会

- ①太陽光発電** <座長: **アダム ヘラー** テキサス大学リサーチプロフェッサー>
低価格かつ高効率の太陽発電システムの導入加速及び蓄電池や天然ガスタービンを含むグリッドの安定化のためのシステムと技術の導入による太陽発電の普及拡大について議論
- ②地熱発電** <座長: **安川 香澄** 産業技術総合研究所 地圏資源環境研究部門 地圏環境評価研究グループ 研究グループ長>
既存の地熱発電技術の普及とEGS (Enhanced Geothermal System) を含めた新しい技術の研究開発への投資について議論
- ③次世代自動車技術** <座長: **デービッド サンダロー** 元米国エネルギー省 (DOE) 次官補>
電気自動車と燃料電池車の導入とそれらを支えるインフラストラクチャーの建設、燃費向上技術の導入、モーダルシフトの促進、先進的バイオ燃料の導入、そして上記の研究開発への投資について議論
- ④省エネ技術** <座長: **安井 至** 製品評価技術基盤機構 (NITE) 理事長>
ビッグデータ活用による人間の行動の研究、新たな効率の良い装置、器具の研究開発、そして既存の省エネルギー技術の普及について議論
- ⑤スマートコミュニティ** <座長: **山地 憲治** 地球環境産業技術研究機構 (RITE) 研究所長>
再生可能エネルギー導入の最大化とコミュニティ全体としての大幅な省エネルギーの実現とそれらに消費者を巻き込むためのスマートエネルギーマネジメントシステムの開発、導入について議論
- ⑥イノベーション創出と普及における公的機関の役割** <座長: **ホーセン リー** IPCC 副議長、韓国啓明大学校環境大学学長>
下流の技術開発過程への公的介入、政策や補助金の適切性の保障について議論
- ⑦先進国と途上国の協力** <座長: **イスマイル セラゲルディン** アレキサンドリア図書館長>
発展途上国への技術移転のために最も適切な手段を開発するための協同のアプローチ、地球規模でのイノベーションを促進し、最貧地域への技術移転の成功も保障するような、適切な国内外の統治政策について議論

◆第2回年次総会◆

会合日時: 平成27年10月7日(水)~8日(木)(10月6日(火)の夜に「ネットワーキングプラザ」を開催予定)

場所: ホテル椿山荘東京